

## 令和7年度第3回旭川市スポーツ推進審議会 会議録

|               |  |
|---------------|--|
| 会議概要          |  |
| 日時            | 令和7年11月25日(火曜日) 午後6時から午後7時20分まで  |
| 場所            | 旭川市役所 第二庁舎3階 講座室   |
| 出席者           | <p>委員（8人）<br/>赤堀会長、稲田副会長、小田嶋委員、川崎委員、佐竹委員<br/>角尾委員、富田委員、原委員</p> <p>事務局（8人）<br/>スポーツ推進課 山内施設管理・合宿担当課長、道下補佐、山田、<br/>本地、成田、二宮<br/>スポーツ施設整備課 川原課長，大久保主幹，畠山主査<br/>計16人</p>   |
| 欠席者           | 2人（阿部委員・藤田委員）  |
| 会議の公開・<br>非公開 | 公開   |
| 傍聴者の数         | 0人   |
| 会議資料          | <p>次第</p> <p>資料1-1 カムイスキーリンクス管理運営計画</p> <p>資料1-2 第2回旭川市スポーツ推進審議会でのいただいた意見と回答</p> <p>資料2-1 花咲スポーツ公園再整備基本計画中間とりまとめについて</p> <p>資料2-2 「花咲スポーツ公園再整備基本計画中間とりまとめ（案）」に寄せられた御意見と旭川市の考え方（案）</p> <p>資料2-3 花咲スポーツ公園再整備基本計画中間とりまとめ（修正案）</p> <p>資料3-1 使用料・手数料の見直し案に対する意見等の募集について</p> <p>資料3-2 大成市民センター協力金見直し案</p> <p>資料3-3 「使用料・手数料の見直し案」等に係る市民説明会のご案内</p> |

## 会議の結果内容

### 1 開会

#### 【事務局】

- ・出席者数及び会議の成立について報告。

#### 【会長】挨拶。

#### 【事務局】

- ・会長へ進行を依頼。

## 2 議事

### (1) カムイスキーリンクス管理運営計画の策定について

#### 【事務局】

- ・資料1-1及び1-2について説明。
- ・審議会委員からの意見を元に「資料1-1のP17今後の取組イ駐車場の拡張」を追加。

#### 【委員】

- ・特に意見はなし。

#### 【会長・委員】

- ・議題1について承認。

### (2) 花咲スポーツ公園再整備基本計画について

#### 【事務局】

- ・資料2-1、資料2-3に沿って説明。
- ・資料2-2について説明。

#### 【委員】

・民間のプール施設の閉鎖を理由に花咲スポーツ公園再整備基本計画の屋外プール計画を変更することだが、わかるのであれば、民間のプール施設の閉鎖した理由をお聞きしたい。

#### 【事務局】

- ・ホームページ上と施設の張り紙等での確認したのみであり、別途事業者等に確認はしていない。

#### 【委員】

・屋外プールについて、現状利用者が少なく、修繕に資金を投入する必要があるのか。また、資金の投入するのであれば、利用を促進するべく、新たに造り替えるといったことは検討しているか。

#### 【事務局】

・利用状況は屋外プール全体の利用者数である。多いときには、25℃幼児用プールは、泳げる状況ではないと聞いている。競技利用ではないプールとしては、学校プール開放事業など、代替施設はあるが50℃プールは花咲スポーツ公園のみで、50℃競技の練習のために使用されている。前回の改修の考え方では、50℃プールを区切り、25℃プールも併設するとしていたが、民間のプール施設の閉鎖により、改めて使用状況等を調査した後、方向性について再度検討したい。

#### 【委員】

- ・競技をすとの前提であると今の案では難しいと感じるが、どのように考えるか。

#### 【事務局】

・競技を行うためには、現状から大きな修繕が必要になり公認を得なければならない。そこまでの、費用はかけられないと考えている。

### 【委員】

・大雪アリーナは駅からアクセス的に歩いていける場所であり、プロスポーツ等の開催場所としては利便性があり、適していると感じる。花咲新アリーナと既存の施設の大雪アリーナとの関係性について状況は変わっていないのか。

### 【事務局】

・変わっていない。大雪アリーナは、冬場、スケートリンクになるため、通年利用は難しく、また、屋内スケートリンクは市内では大雪アリーナのみであり、屋外の花咲スケートリンクを廃止しようとする中で、屋内のスケートリンクの確保や大雪アリーナ本体については今後の検討となる。大雪アリーナに代わり新アリーナを設置とはならない。

・新アリーナの交通の利便性については、現在、新アリーナの事業者の公募に向けた準備を進めており、事業者が決まれば、事業者としても集客のための利便性向上に向けた検討がされると考えている。

### 【委員】

・花咲スポーツ公園屋外プールについて、

夏休みの暑い日に300人の利用があり、小学生の子供がレジャーとして使用していると推測される。閉鎖となる民間事業者のプールについては、インストラクターの指導によるスイミングエクササイズでの利用が多いと推測できる。競技ではない利用が多いこと、また、50㎡プールの存続希望が2件意見としてあった中で、50㎡プールの存続について水泳協会等からの要望はあるのか。

### 【事務局】

・水泳協会からは競技用の屋内プールの整備について要望がある。民間施設も含め市内の屋内プールの状況が変化しているので再度検討の必要があると考えている。

### 【委員】

・中途半端に資金を費やし実行するのではなく、時間をかけ、目的に合わせた施設を整備してほしい。

### 【事務局】

・水泳協会は屋内型のプールの要望はあるが、相当の財源が必要である。事業手法を含め水泳協会と協議しながら検討していきたい。

### 【委員】

・屋外プールについて、利用の可否や空き状況等について、随時出していった方がいいのでは。

### 【事務局】

・屋外プールは専用利用はなく、開館時間は一般の自由利用が可能となっている。気温が高くなり閉鎖する場合などは指定管理者のホームページで公表している。

### 【委員】

・学校プール開放事業について、小学校のプールが老朽化、監視員がみつからない、働き方改革により、長期休業中に開放を実施しない学校が増加すると予想される。そのような場合、こどもたちは花咲スポーツ公園屋外プールに行くことが多くなると考えるが、遊ぶことができても泳ぐことができないのでは、ニーズに対応できないこと、また、他市では、こどもの減少により公共施設にバスでプールに行く学校もある。今後、そのようなことも考えられるため、そのような使用方法に対応できる、また、こどもが利用できるスペースを増やした施設を検討してほしい。

### 【委員】

・水遊び広場はどのようなイメージか。

**【事務局】**

・新アリーナの事業者から提案をいただく予定。噴水のような水遊びができるイメージと考えられる。

**【委員】**

・50 ㎡プールを存続するのであれば、観客席は設置するのか。

**【事務局】**

・練習用であれば、観客席の設置は考えていない。10 年先を見越し大会開催も視野に入れる施設といった整理になれば、観客席を整備といった方向になることも今後の検討により考えられる。

**【委員】**

・水泳人口や競技者人口を踏まえた中で、現状はどのような状況かを判断し、優先順位を判断してほしい。

**【事務局】**

・プール整備については、健康増進、学校利用、競技利用があり、行政の役割を明確化した中で、検討していく必要があると考える。

**【会長】**

・プール整備については、更に検討を重ね、計画を策定いただきたい。

**【会長・委員】**

・議題 2 について承認。

(3) 使用料・手数料の見直しについて

**【事務局】**

・資料 3 - 1 中、料金算定方法、スポーツ推進課所管施設（東地区体育センター、道北アークス大雪アリーナ、忠和テニスコート、リクルートスタッフィングリック&スー旭川体育館）について説明。

・資料 3 - 2 について説明

**【委員】**

・中学校の部活動地域展開において、体育館等を使用しての部活動などが想定されるため、その場合の使用料の減免等措置をについて検討、考慮してほしい。

(4) その他

・議題なし

**【会長】**

・本日の審議終了。事務局から。

**【事務局】**

・次回 2 月ごろの会議実施の予定。

・会議終了後 1 月程度に報酬の振込との案内。